

## ● 最近の県内経済

### 基調判断

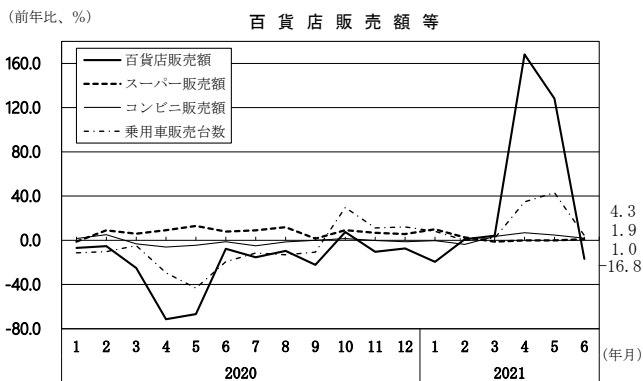
(2021年6月を中心として)



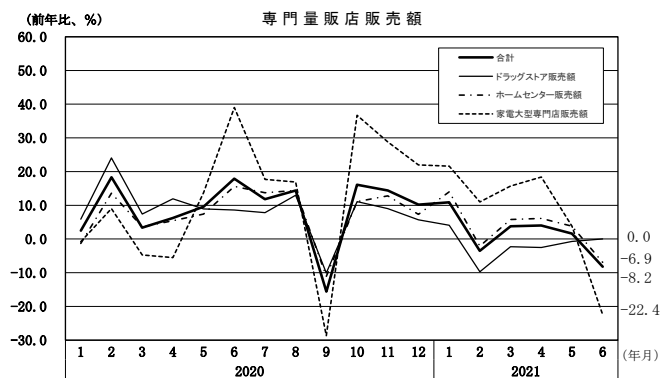
### 今月の概要

県内景気は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況にある。

## 1 個人消費 持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

6月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が123億円で前年比16.8%減（5か月ぶりの減少）、スーパーは961億円で同1.0%増（4か月ぶりの増加）となった。一方、コンビニ販売は530億円で同1.9%増と、4か月連続の増加となった。

乗用車販売は、前年比4.3%増と4か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車（同9.6%減）は3か月ぶりの減少、軽乗用車（同0.1%減）は、9か月ぶりの減少となったものの、普通車（同19.5%増）は9か月連続の増加となった。

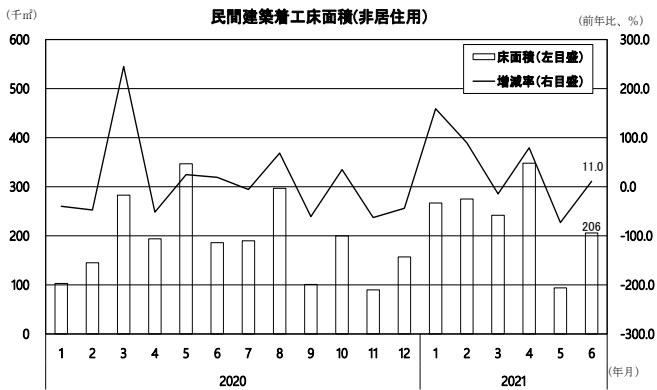
スーパーやコンビニにおいては、引き続き巣ごもり需要が堅調に推移している。

6月の専門量販店販売額は、741億円で前年比8.2%減となった。内訳をみると、ドラッグストアが379億円で同0.04%増（5か月ぶりの増加）となったものの、家電大型専門店が184億円で同22.4%減（9か月ぶりの減少）、ホームセンターが178億円で同6.9%減（4か月ぶりの減少）となった。

家電大型専門店やホームセンターは、前年同時期における巣ごもり需要や特別定額給付金支給による売上増の反動が表れた結果となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、5月〈34.8〉、6月〈38.2〉、7月〈37.3〉で推移している。

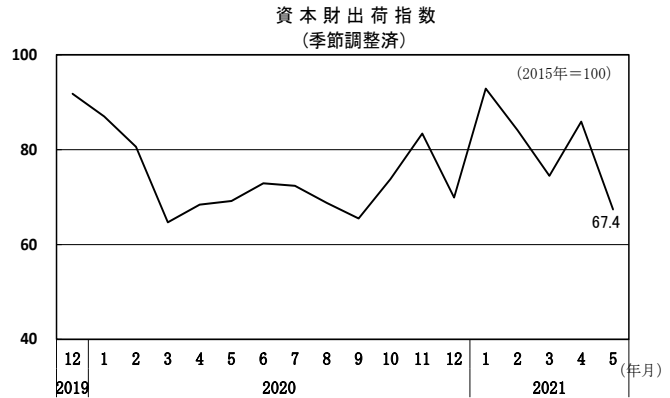
## 2 設備投資 持ち直しの動きがみられる



(資料)国土交通省

6月の民間建築着工床面積（非居住用）は、206千㎡で前年比11.0%増となった（5か月後方移動平均でも前年比0.9%増）。

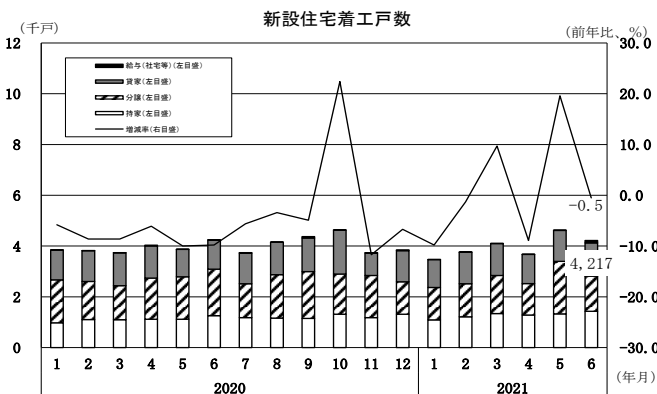
用途別にみると、病院・診療所は減少したものの、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫はいずれも増加した。



(資料)埼玉県

5月の資本財出荷指数（季節調整済）は67.4で、前月比21.5%減と2か月ぶりの減少となった。（5か月後方移動平均でも、前年比0.5%減）

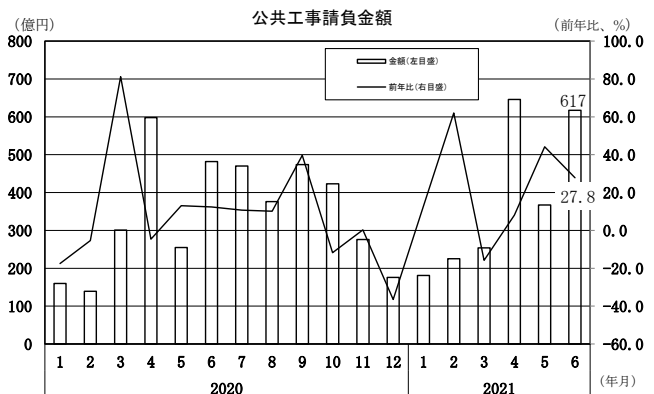
## 3 住宅建設 持ち直しつつある



(資料)国土交通省

6月の新設住宅着工戸数は、4,217戸で前年比0.5%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では、3.5%増）。利用関係別にみると、持家（1,429戸）が同13.8%増、貸家（1,305戸）が同13.7%増となったものの、分譲マンション（250戸）が同60.7%減、分譲一戸建（1,138戸）が同5.0%減となった。

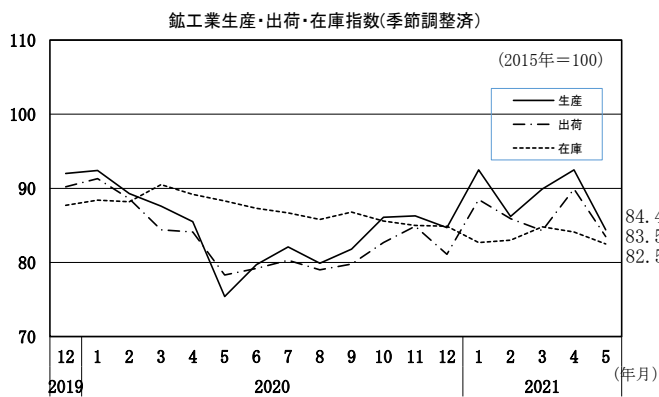
## 4 公共工事 増加基調



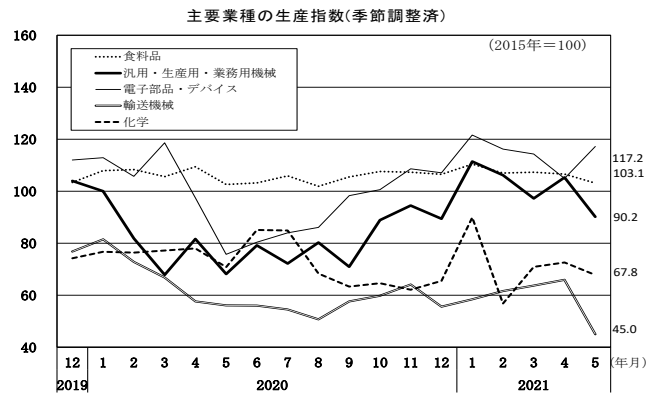
(資料)東日本建設業保証株式会社

6月の公共工事請負額は、617億円で前年比27.8%増となった（5か月後方移動平均でも前年比18.8%増）。発注者別でも、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村のいずれも増加した。

## 5 生産活動 持ち直し基調にある



(資料)埼玉県



(資料)埼玉県

5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、84.4で前月比8.8%低下(3か月ぶりの低下)。電子部品・デバイス(スイッチング電源、光電変換素子)、業務用機械(パチンコ、医療用機械器具)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが低下した。

出荷指数(同)は、83.5で同7.1%低下(2か月ぶりの低下)。業務用機械(パチンコ、医療用機械器具)、電気機械(電力変換装置、電気測定器)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが低下した。

在庫指数(同)は、82.5で同1.9%低下した(2か月連続の低下)。情報通信機械(ガス警報器、電話機)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、特殊印刷用紙)などが上昇したが、電子部品・デバイス(整流素子、トランジスタ)、家具(システムキッチン、木製棚)などが低下した。

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、103.1で前月比3.3%低下し、2か月連続の低下となった。

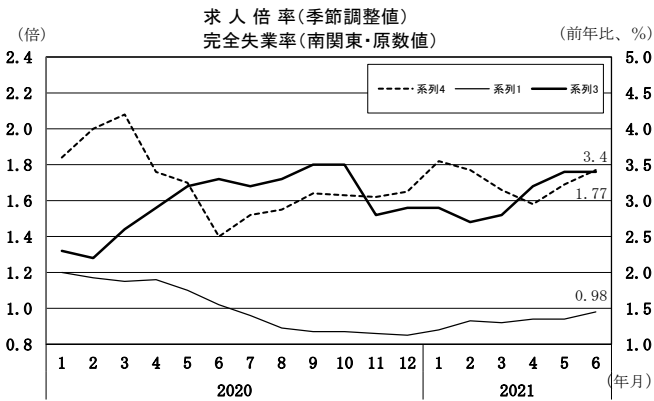
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、90.2で同14.4%低下し、2か月ぶりの低下となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は、117.2で同11.7%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。

◆ 輸送機械(同)は、45.0で同31.7%低下し、5か月ぶりの低下となった。

◆ 化学(同)は、67.8で同6.6%低下し、3か月ぶりの低下となった。

## 6 雇用情勢 弱い動き

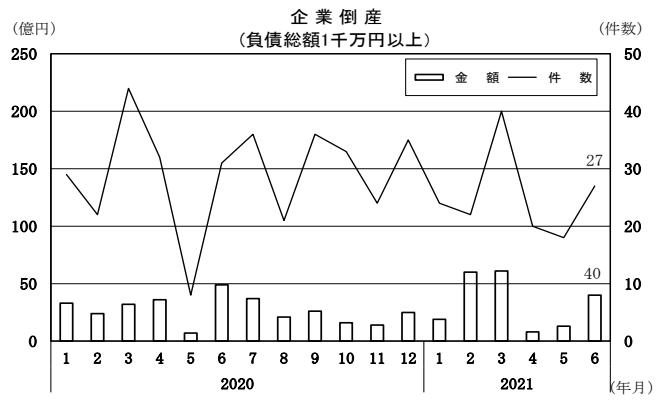


(資料)厚生労働省、総務省

6月の有効求人倍率(季節調整済)は、0.98倍で前月比0.04ポイント上昇(2か月ぶりの上昇)した。依然として12か月連続で1倍を下回っている。新規求人倍率(同)は、1.77倍で同比0.08ポイント上昇(2か月連続の上昇)した。

完全失業率(南関東、原数値)は、3.4%で前年同月比0.1ポイント上昇した。(前年同月比17か月連続の上昇)

## 7 企業倒産 一進一退



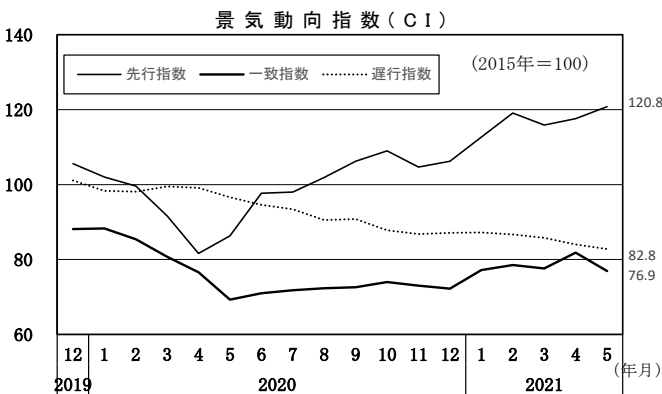
(資料)帝国データバンク

6月の企業倒産件数は、27件で前年同月比4件の減少となった。負債総額は40億円で同9億円の減少となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比7.3%減、金額は22.9%増)。

業種別にみると、建設業が8件で最も多く、次いでサービス業7件、小売業4件と続いている。主因別では、販売不振が21件となっている。

## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 改善を示している



(資料)埼玉県

5月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、76.9で前月比4.9ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、120.8で同3.2ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、82.8で同1.2ポイント低下し、4か月連続の低下となった。